

中耳炎

浜町耳鼻咽喉科医院 福島淑子 先生

中耳炎は、急性中耳炎、滲出性中耳炎、慢性中耳炎が良く知られています。

「急性中耳炎」

最盛期と、少し落ち着いてからと、治療方法が違うので注意してください。耳が痛い、熱がある、風邪をひいている（急性中耳炎は風邪が原因のことが多い）。以上の時期には、ご近所の何科でも、できるだけ早く受診して下さい。問題は、最盛期を過ぎると症状が落ち着くため治療（受診）を中止してしまうことにあります。大人ならば自分でわかりますが、この病気は子ども、特に小学校入学前の幼児に多いのです。

耳だれ（鼓膜が破れると、耳だれになる）がでる、聞こえが悪い、ボーとしている、高い山に登った時の感じ、耳に何か入っているようだ、耳がかゆい、肩がこる、頭がおもい、時にめまいがする、響いて聞こえる、膜が張っている感じ。最盛期が過ぎると、このような症状の組み合わせで、色々なパターンがあります。この時、耳鼻咽喉科で適切な治療をしておかないと長い間何となく具合が悪いまま過ごすことになります。

「滲出性中耳炎」

鼓膜の向こう側に水が貯まり聞こえが悪くなります。

「慢性中耳炎」

鼓膜に穴があいたまま閉じない状態です。

滲出性、慢性、共に、ここでは詳しく書けませんが、急性中耳炎の治療が適切でないために、起きることが多いのです。
